

「建てる」をもっと簡単に、
「住む」をもっと自由に

どこでも誰でも建てられる 快適なインスタントハウス

避難所（輪島中学校）へ届けた
屋内用インスタントハウス

—大学の先生だったら来週建ててよ—

東日本大震災の避難所で聞いた小学生の悲痛な声をきっかけに、廉価性・簡便性・安全性・構造的性・技術性・汎用性に優れたインスタントハウスを研究開発。さらに改良を進め、より安価でより簡便なものとなった。

令和6年に発生した能登半島地震では、発災翌日に被災地入りし、その後も設置の要請が多く、急ピッチで大量生産し現地へ届けた。被災者と共につくること、被災者が愛着をもってつかいこなすことで、未来に向かう希望は確実に届いている。



講演者紹介

名古屋工業大学 北川啓介 教授

建築・デザイン分野
高度防災工学センター

従来になかった新たな建築構法により、安価かつ短期間で建てることのできる簡易住宅「インスタントハウス」。発明者であり名工大初ベンチャーの株式会社 LIFULL ArchiTechの代表取締役社長兼CEO。



屋外用インスタントハウス（内観）

2024年

10月19日（土）

15時45分～

〔 総会 15時～
懇親会 17時頃～ 〕

プラザ洞津

（津新町駅から徒歩2分）